

「紅白」のステージ決定

「もしも被災地に行くのであれば、その真ん中に突っ立って歌いたいという気持ちでした。縁があつて何度か足を運ばせていただいて、そして快く迎え入れてくださつて、僕の中では自分のふるさとに匹敵するようないふ感情が芽生えているんです。今でもとても気になります」

被災地からの中継が決まった瞬間、長渕の頭の中に「石巻」というイメージが脳裏をよぎった。最初に訪れたのは、復興支援ラジオ番組「長渕 RUN FOR TOMORROW」明日へ向かって〜」の開始直後の4月16日。石巻高校などの避難所や、自衛隊の救難拠点であつた石巻総合運動公園を慰問したほか、津波で壊滅的な被害が出た南浜町・門脇地区では、がれきの山の中を歩き、地獄のような風景

3度訪問「ふるさとに匹敵する感情芽生え」

に言葉を失つた。6月にはNHKの音楽番組「SONGS」の収録で高台にある日和山公園を訪れ、地元の小學生らとともに復興応援ソング「TRY AGAIN for JAPAN」を歌つた。そんな長渕に、NHK側は出演者の中で唯一、被災地からの中継による紅白出演をオファー。長渕も快諾し、いくつかの候補地の中からこの時代に正面から向き合う楽曲「ひとつ」を歌うのに最もふさわしい場所を選んだ。

長渕は「被災した方々の無念さや悔しさとか、いろんな思いを背中に感じながら思いっきり歌いたい。そして番組を見の方々が、『いろいろあつたけど、また来年からも頑張ろう』という気持ちになつていただけるような、そんな優しい、美しいシーンを表現できたら

新曲で無念、鎮魂、復興への叫び

いいなど思っています」と決意を語つた。

野外からの中継になるため、照明機材などを含めて大がかりな撮影となるが、石巻市は全面的に協力を約束。一方でNHKサイドは「安全上の理由などにより、この中継放送は完全非公開となるため、一般の方の撮影地への立ち入りは一切できません」としている。

東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けた地区で、被災者への思いをほせながらギターを天に掲げる長渕剛。宮城県石巻市で



爪痕が生々しい建物も目の当たりにした

長渕



石巻からひとつに

日本を

CD聴いた市長も感涙

〇…下見の際、長渕は石巻市役所を表敬訪問し、亀山紘市長にできあがったばかりの新曲「ひとつ」の仮CDをプレゼントした。亀山市長は同曲を聴いて涙を流したことを明かし、「本当に大切な人を亡くしてしまった方々に、勇気と希

望を与えてくださると思つた。ひとつになつて、そしていつまでも忘れないで、共に生きようというメッセージを大みそかに送っていたかどうかというのは、石

巻のみならず被災地域みんなに呼び掛けていただくと感じました」と話した。同曲は来年2月1日にシングル発売される。

大みそかの「第62回紅白歌合戦」に東北地方からの生中継で出場することが発表されていたミュージシャンの長渕剛(55)の中継場所が、宮城県石巻市に決定したことが27日、分かった。長渕は自身が立ち上げた東日本大震災復興支援ラジオ番組の一環として同市を2度訪れ、思い入れが深い。今月中旬に中継地を下見するために、3度目の訪問をし、NHK側と調整を続けてきた。当日は復興に向かう人間の力をまざまざと見せてくれたこの土地で、被災者への祈りや鎮魂の意味を込めた新曲「ひとつ」を披露する。

東北の子どもたちも愛菜&福と熱唱

第62回NHK紅白歌合戦の前半のハイライト、「あしたを歌おう。」こどもスペシャル」コーナーの概要が

27日発表された。初登場の人気子役コンビ、芦田愛菜(7)と鈴木福(7)が歌う「マル・マル・モリ・モリ!」のスペシャルバージョンには、東北からNHKホールに集まった子どもたちも参加。元気にステージを盛り上げる。さらにディズニーの名曲にのせミッキーマウスたちに愛菜&福、紅白両司会者、出場歌手有志が加わり、ステージから日本中に夢と勇気を届ける内容。